

令和2年 第4回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

令和2年 第4回宮崎市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和2年4月22日(水) 13:40～15:00
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 **【教育長・教育委員】**  
西田教育長、今門代表教育委員、畠山委員、柳田委員  
**【事務局】**  
迫田教育局長  
(企画総務課) 川辺課長、井上補佐、河野室長、竹下係長、  
鬼束主任主事、三角主任主事、河野主事  
(学校施設課) 野口課長、年増補佐  
(学校教育課) 牧野課長、小川補佐  
(教育情報研修センター) 富田所長、黒木次長  
(生涯学習課) 中野課長、鳥枝補佐  
(保健給食課) 大賀課長、松崎補佐  
(文化財課) 白坂課長、川崎補佐
- 4 議 案 (議案なし)
- 5 報 告

番号	件名	説明者
報告第12号	新型コロナウイルス感染症に係る対応について	教育局長 各課長
報告第13号	臨時代理の報告について	学校教育課長
報告第14号	事故等の報告について	学校教育課長

西田教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただ今から、第4回教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>なお、本日は、江草教育委員が欠席となっております。</p> <p>本日の傍聴者はありません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、畠山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。</p> <p>「(1) 教育長報告」「(2) 委員報告」「(3) 教育局長報告」ですが、こちらに記載のとおりとなっております。</p> <p>次に「(4) 各課行事報告等」につきましても、こちらに記載のとおりとなっておりますが、学校教育課から、小中学校の卒業式と入学式、及び教職員新任式・新任者研修会について、報告をお願いします。</p>
牧野学校教育課長	<p>資料1ページをご覧ください。まず、1段目の3月25日に行われました小学校の卒業式です。今年度は、3,961名が卒業しました。なお、臨時休業中であり、行事ではなく登校日としての開催となりました。在校生の参加もできず、保護者や来賓の方も限られた範囲内となりました。</p> <p>次に、2段目の4月2日に行われました教職員新任式でございますが、本年度はライブ配信での開催となりました。新任者の数は、校長28名、教頭21名を含め、248名の先生方が新たに宮崎市立小中学校に赴任されました。そのうち、新規採用教職員が77名であります。</p> <p>3段目をご覧ください。4月9日に行われました中学校の入学式でございます。今年度3,367名が入学いたしました。昨年度は、3,150名でしたので、217名の増となります。現在のところ中学校の在籍者数は、9,646名で172名の増となっております。</p> <p>続きまして、4段目の小学校入学式です。3,648名が入学しました。昨年度は、3,679名でしたので、31名の減となります。現在のところ小学校の在籍者数は、22,492名で318名の減となっております。現段階で小中学校に在籍する児童生徒数は32,138名で、昨年度と比べて、146名の減となります。</p> <p>教育委員の皆様には、小中学校の入学式への出席と挨拶をお願いしておりましたが、ご存知のとおり、新入学生と保護者、最小限の来賓のみでの実施となったため、予定を入れていただいていたにもかかわらず、申し訳ありませんでした。報告は以上でございます。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で行事報告等は終了ですが、これまでの報告に対する質問や、委員の方でお気づきになった点、これからの課題、また感想等ありましたら、お願いいたします。</p>
委員	なし。
西田教育長	ほかにないようでしたら、「4 議事」に入らせていただきます。2ページをご覧ください。本日、議案はございません。報告が3

	<p>件でございます。</p> <p>まず、報告第12号「新型コロナウイルス感染症に係る対応について」、事務局から説明をお願いします。</p>
迫田教育局長	<p>資料3ページをご覧ください。報告第12号「新型コロナウイルス感染症に係る対応について」報告させていただきます。</p> <p>まず、①の小中学校関係についてですが、臨時休業に至る過程について説明をさせていただきたいと思っております。現在、宮崎市内における感染状況としましては、4月11日の9例目を最後に、市内での感染者は発生しておりません。4月14日に教育長から宮崎市保健所長に、現在の状況等を電話で問い合わせたところ、感染者は出ていないものの相談件数、検査件数が倍増しており、感染リスクは高まっているという報告を受けました。また、4月16日に、国が緊急事態宣言の対象区域を全国に拡大したということもあり、当初4月20日までの臨時休業でございましたが、4月17日の宮崎市感染症危機管理対策本部会議の中で、小中学校の臨時休業を5月6日まで延長することを決定したところでございます。延長した間の児童生徒の受け入れにつきましては、基本的には自宅待機でございますが、児童クラブに登録がある児童については、児童クラブで受け入れ、また、児童クラブや家庭等での対応が難しい生徒については、学校で受け入れるという体制をとっております。</p> <p>③の入学式についてです。中学校が4月9日、小学校が4月11日に予定どおり行いましたが、出席者は、教職員と新入学生とその保護者、また、来賓の出席はPTA役員のみという必要最小限の人数で実施いたしました。また、式次第も工夫し、最大1時間程度の時間短縮に努めて開催いたしました。</p> <p>④の登校日についてでございますが、4月21日の午前中と、4月27日から30日の間で1日の、計2日の登校日を設けてもらいます。密集密接密閉を避けるために、ある程度の期間を設けて、各学校の状況に合わせて対応していくようお願いしております。また、1回目の登校日において、悩み相談アンケートを実施し、児童生徒の心のケアに努めてまいりたいと思っております。</p> <p>⑤の学校校庭の開放についてでございますが、児童生徒の心身の健康の保持を目的に実施しております。1回目が4月23日、2回目が5月1日でございます。時間は9時から12時の間の最大3時間、各学校の実情に応じて、柔軟に設定することとなっております。開放する施設は原則として屋外運動場でございます。</p> <p>2番の宮崎市立幼稚園関係ですが、倉岡幼稚園と清武幼稚園については、4月21日から5月6日まで臨時休園になっております。</p> <p>3番の教育委員会所管施設の閉鎖状況ですが、11の施設全てが5月6日まで閉鎖となっております。報告は以上でございます。</p>
西田教育長	<p>その他、各課からの報告第12号に関する説明はございませんか。</p>
各課	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>それでは、ただいま説明のありました報告第12号に対して、ご質問はございませんか。</p>
今門代表教育委員	<p>大変な状況が続いていますが、子どもたちが精神的に参ったり、交通事故等にあったりしないことを願っています。安全第一に過</p>

ごして欲しいと思っっているところですが、私なりにコロナに対して思うことが4点あります。

1点目が、先行きが見通せない難題で、国の方針も日々変わっておりますし、変わらざるを得ないとも思っております。全国学力調査も中止になり、今後も情勢は刻々と変わってゆくと思います。宮崎の感染状況も余談を許さない状況にあるのではないかなと考えております。このような中で、計画していたものが、次々に変更していかざるを得ません。日々、変更を迫られる中で、懸命に取り組んでおられる事務局の方や、学校の先生方には感謝しております。ここがやはり踏ん張りどころだと思います。

ここで思い出しましたのが、「美味しんぼ」という漫画の中で落語家が調理師に、平時に仕事がしっかりとできるのは当たり前で、忙しい時や特別な時にいい仕事をするやつが実力があるんだと言うシーンがあるのですが、そこが凄く好きで、今がそういう特別な時なのではないかと思っいます。

2点目は、心の教育がとても大切だと思っっています。私は家にいる時間が長いので、ワイドショーや報道番組をよく見ていますが、心温まるニュースもあれば、そうでないニュースも沢山あります。店員さんに心ない言葉を浴びせたり、外出自粛が求められている中で、大人が観光地や遊興施設に出掛けたり、やりきれないニュースが非常に多いです。学校でいくら子どもに心の教育をしても、大人がこのような言動をみせれば、子どもはやはり感化されてしまいます。子どもには見せたくないが、目には止まっていきますので、そこはしっかりと考えないといけなっと思っいます。子どもには、強い心を持った大人に成長して欲しいと思っいます。なぜ、外出規制がされているのか、学校でも子どもにはしっかりと指導されていると思っいますが、登校日などの時間の中で、さらによく分かるように学年相応に話をしていただきたいと思っっています。このような中で、医者や看護師は家に帰れず、車の中で寝たり、夜中に帰って、朝早く病院に行ったり、もう2ヶ月も休みがないという話も聞きます。そういう人達を休ませてあげたいから、自分も我慢するんだというように優しい気持ちを持てるような話をしてあげて、豊かな人間性を育てていただきたいです。そして、コロナにかかった人がいたら、そういう人に対して嫌がらせをするのではなくて、早く治るよう願うような子どもに育てて欲しいと思っいます。心の教育を大切にしたいというのが2点目でした。

3点目は、普段私が仕事をするときには、数値目標を立てて、仕事や勉強に取り組むということをやっていて、目標に対して100点を取るといっのは、非常に難しい事だと思っっているところでは。かつて、シーガイアの社長に聞いた話ですが、なかなか100点は取れないので、70点を取ったら、皆で喜び合うようにし、そこで士気を高めて、次の段階に進んでいくということでした。いい話だと思っったのですが、世の中は、やはり100点を取るといっことは大事であると思っいます。学校にある鍵の100カ所のうち、99カ所に鍵をかけても、やはり、泥棒は入るし、横断歩道を100回渡るうち、1回だけ他の道を通っただめに事故に遭うこともあります。だからこそ100点でなければならなっいものもあるんだということ子どもたちには言っ聞かせてきました。このコロナ対策についても100点でなければならなっいものだと思

	<p>っています。</p> <p>最後に、4点目ですが、学校では生きる力を身に付けさせる「自ら考えて、主体的に行動する力」をこれまで養ってきました。今は、生き抜く力の育成というのが大切で、せめて中学校を卒業する頃には、不要不急とはどのような出来事かは分かるくらいの力を身に付けさせておかないといけないと思います。テレビを見ると、いい大人が不要不急の具体的な例を挙げて欲しいなどと言っていて、自分で考えて行動できないのかと憤りを感じました。小学6年生でも不要不急の事例を説明しなさいといったら、出来ると思うのですが、学校でそういうところにも重きを置いて指導していただきたいと思います。以上です。</p>
<p>畠山教育委員</p>	<p>代表のお話の中に沢山大事なキーワードがありました。教育長をはじめ各課の皆さん方は、これまでに経験したことのない現状に向かって、想定し、対策を練りながら、子どもたちや先生方がこの状況をいかにプラスに、前向きに、チャンスに捉えていけるかということを、念頭に置いて動いておられるかだと思います。感謝とともに敬意を表しています。</p> <p>1月に文科省の研修に行き、私は「GIGAスクールネットワーク構想」という講義に参加しました。その際、全国的にも進んでいる県や市町村の話は聞きましたが、なかなか取り組んでいなかった地域が、この時期大変苦労をなさっていると思います。経験しながら、うまく活かしている熊本市や佐賀県、宮崎県でも遠隔授業をすでに行っていた西米良村などいろんな事例があると思いますが、これを共有出来ていない現状があるのではないかと思います。市町村が一生懸命作りあげたとしても、できることとできないことがあるかと思いますが、この機会に、国とのネットワークや、成功している地域のノウハウをいかに活用することができるかが重要ではないかと思います。おそらく、各学校でもプリントを作って生徒に配布して家庭で学習ができるように取り組んでいると思いますが、それを国全体でやれば、費用、時間、手間、クオリティなどの解決策にもなるのではないかと思います。全ての市町村で動かしているという体制を見直していただくような時期ではないでしょうか。</p> <p>そして、この一年でおそらく大きく変わっていくと思いますが、子どもたちが規則正しい生活、学校に行くことによって今まで出来ていた家庭での暮らし方ができなくなっている現状もあるのではないのでしょうか。家庭によってそれぞれのやり方があるのですが、なかなかうまくいかないご家庭もあると思いますので、是非、NHKであったり、民間放送であったり、テレビの力を使い、家庭で学べるようになって欲しいという期待と妄想を膨らませているところです。やはり、そこで必要になってくるのが、人間力だと思うので、そこを磨く次のステップへ繋がっていければいいと思います。</p>
<p>柳田教育委員</p>	<p>先日、高校3年生の子をもつお母さんと話をする機会があり、「このままだと卒業できなくなって、留年にならないだろうか」という不安を子どもたちが抱えているという話がありました。もちろんそういうこともあり得るが、その時は、大人なり、県教育委員会なりが対応を考えていくと思いますが、子どもたちは、心の中が複雑であります。そういう中で、悩み相談アンケートはす</p>

	<p>ごく大事だなと思いました。ぜひ一回だけでなく、次回も実施することで、大人が子どもたちに対して、あなたたちの気持ちを聞きたいんだよという姿勢を伝えていくことがすごく大事だと思うわけです。もちろんアンケートをとった後の処理なども先生方の負担にもなってしまう訳ですが、休みが明けることが見えない状況ですから、こういう働きかけというのは、すごく有難いと思います。</p> <p>それから、虐待の問題です。これは、学校が休みになるかならないかに関係なく、先生方は悩んでらっしゃると思いますが、こういう状況だとより一層出やすくなるので、その把握が大事だと思います。この把握がなかなか難しく、これは他の自治体の話ですが、先生方が家庭訪問に回っていると聞き、この状況下でそれが正しいことなのかどうか疑問も出るところですが、把握するという点からは仕方がないとも思います。</p> <p>あと一点、臨床心理士の会長としての立場から、何らかの対応をしなくてはならないのでは、ということで少しずつ動き出しています。中学校には、県のスクールカウンセラーが配置されていますが、そのような人達を通じてでもいいので、いろんなことを相談していただきたいと思います。例えば、事件とか事故だとこれまである程度の蓄積がありますし、他県の情報もありますので、対応対処できますが、今回のことについては誰も分からないので、私達も手探りで対応を考えているところです。また、市の教育委員会ともお互いやりとりしていくと、子どもや保護者に対して何らかの有効な関わりを持てるようになるのではないかと臨床心理士の方でも考えているところです。以上です。</p>
西田教育長	<p>今、3人方からそれぞれ貴重なご意見いただいたところですが、事務局から何かありますか。</p>
牧野学校教育課長	<p>ご意見ありがとうございました。どの委員からも、子どもたちの精神面を心配するお話をいただきましたが、私達も非常に心配しておりまして、昨日の登校日でアンケートをとったところです。実は、登校日といっても、欠席している子ども達がかなりいるうえ、元々、不登校の子どもたちなどもいるため、本当に悩みがあるのは、そのような児童生徒かもしれないと心配しているところです。学校ではそれらのことも考えて、玄関先までの家庭訪問を先生方で分担して行ったり、電話での言葉かけをされていたり、何らかの形で、子どもたちへのメッセージの発信を各学校で取り組んでいるという報告を受けております。また、今日いただいたご意見を参考にさせていただきながら、取組をしていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
西田教育長	<p>他に何かありませんか。</p>
畠山教育委員	<p>気になっていることがあるのですが、去年の5月に宮崎でも大きな地震が発生しています。これから台風シーズンでもあり、新燃岳の噴火も活発化してきているなど、いろんな心配が出てきているので、そういうことも踏まえて準備をしていただきたいということです。学校が避難所になっているということもありますので、3密を考えた受け入れで厳しい状況があるかと思いますが、できるだけ早く、学校の中の整理整頓をしておいていただきたいと思うところでした。備えあれば憂いなしということがありますので、見えない敵で戦いようがないとしても、私達の力で何とか</p>

	できるところを知恵と工夫で備えていただければと思っているところです。
迫田教育局長	避難所についてですが、先日、危機管理部長が、教育長と私のところに相談にきました。避難すると、どうしても密集してしまいますし、人と人との距離を空けると、新たに避難所を設置しないといけません。それについては危機管理部で行うが、問題は、避難所に来たときに、熱があってコロナの疑いがある人が出た場合の対応についてのお願いということで、教室を貸してくれないかという話もありました。しかしながら、臨時休業で延長した時点から、学校としては再開のことを考えているので、そういう場合は、宿泊療養施設となっているひまわり荘のようにしっかりと対応できるところに運んでほしいと回答しました。教育委員会としては、すぐ再開したいですし、学校の施設は、トイレなども完全分離ができないため、隔離場所としては適しておりません。感染が著しく拡大した場合は、協力をしていくつもりですが、学校での感染者への対応というのは一番最後にして欲しいという返答をしたところです。報告は以上でございます。
西田教育長	その他に何かありますか。
今門代表教育委員	もう十分にされているとは思いますが、学校が再開したら、県外からの転入生について、十分配慮をしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。
牧野学校教育課長	転入生については、13の警戒都道府県から転入して来られる児童生徒については、宮崎に入ってから2週間は登校を控えていただき、保護者の方と協議をして登校開始日を決めるということで、今日の校長会でもお願いをしたところです。すでに入学式の時も、10数名のお子さん達には出席を控えていただきました。1件1件丁寧に学校から対応していただいているところです。非常にデリケートなところがありますので、学校と保護者の方と十分に協議をして、登校日を決めていただくということ、それから、周りの子どもたちにも人権的な配慮をお願いをしているところがあります。
西田教育長	人権上の配慮として、ある学校では、出られなかった子どもと保護者に来てもらって、一人のための入学式をしたということでした。そういう配慮というのは、非常に大切なことだと思います。他にないようでしたら、この件を終わりにして、次に、報告第13号「臨時代理の報告について」事務局から説明をお願いします。
牧野学校教育課長	報告第13号「宮崎市いじめ防止対策委員会議員の臨時代理の報告について」でございます。内容としましては、宮崎市いじめ防止対策委員会議員の委嘱についてでございます。いじめ防止対策委員会は、いじめ防止対策推進法第14条第3項の規定に基づき、いじめの防止等のための対策及び法第28条第1項に規定する重大事態に関する事項について調査審議することを目的として設置しております。本報告は宮崎市いじめ防止対策委員会の運営に関する要綱第2条に基づき別紙に掲げる5名の委員を委嘱することを報告するものでございます。いじめ防止対策委員会委員の任期につきましては、令和2年4月1日から、令和4年3月31日の2年でございます。

	<p>今回、新たにいじめ防止対策委員会委員になられた方は、2名です。また、女性委員の割合につきましては、40%となっております。</p> <p>いじめ防止対策委員会委員の委嘱につきましては、3月の定例教育委員会で委嘱の承認を得るべきところですが、委員の調整や内諾が間に合わず、委嘱までに教育委員会を招集する時間がありませんでしたので、宮崎市教育委員会事務委任規則第4条、臨時代理の規定により、報告するものでございます。</p> <p>報告は以上でございます。</p>
西田教育長	ただいま説明のありました、報告第13号について、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、次に報告第14号「事故等の報告について」でございますが、こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思っておりますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開といたします。
西田教育長	それでは、ここで非公開を解除いたします。 次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いいたします。
委員	なし
西田教育長	他にないようでしたら、次に、会次第「6 次回委員会について」事務局から説明をお願いします。
川辺企画総務課長	次回定例会は、令和2年5月29日（金）、13時40分から教育委員会室において、お願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
委員	了承
西田教育長	ただ今説明のありました日時で、委員会を開催いたしますので、よろしくお願いいたします。 続きまして、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
川辺企画総務課長	( 行事予定説明 )
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし
西田教育長	以上をもちまして、第4回定例会を終了させていただきます。